

平成27年度第1回我孫子市子ども虐待等防止対策地域協議会

代表者会議録概要

1. 会議の名称：我孫子市子ども虐待等防止対策地域協議会
2. 開催 日時：平成27年7月16日(木) 午後1時30分～午後3時45分
3. 開催 場所：我孫子市議会議事堂第1委員会室
4. 出席委員：鈴木利博委員、鎌倉委員、吉田委員、奥田委員、上野委員、錦織委員
(15名) 鈴木孝委員、宮本委員、松本委員、根本委員、佐藤委員、辻委員、磯辺委員
渡辺委員、水戸委員
欠席委員：水田委員、水野委員、小池委員 (3名)
事務局：子ども相談課
5. 傍聴人：無
* 1名の方から、傍聴の希望があったが、受付時間を過ぎていたため規定により、受付できないことを説明し辞退してもらうこととなった。

6. 会議の概要

- (1) 開 会
- (2) 市長あいさつ
- (3) 新委員紹介(自己紹介 4名)
鎌倉委員、吉田委員、水戸委員、磯辺委員

(4) 議 事

①平成26年度子ども相談課実績報告について

・相談受付対応状況について

お手元の資料、「平成26年度子ども相談課実績報告」をご覧ください。

(B)の縦のラインが平成26年度の新規受付件数、一番右側が平成25年度の新規受付件数となります。それぞれ合計を見ますと、全体の相談受付件数は平成26年度が443件、平成25年度が326件で、117件の増加となりました。

虐待の受付件数は、平成26年度が210件、平成25年度は76件。134件の増加となりました。円グラフを見て頂きますと、虐待相談の新規ケースは47パーセント、平成25年度は27パーセントでしたので割合としても大きく増加しております。増加の内容としては、児童相談所や警察からの調査依頼が103件ありました。調査依頼は児童相談所が通告を受けた児童についての調査や警察署が通報を受けた児童についての調査です。調査内容は住民基本台帳上の情報、子ども相談課の関わり、所属の確認等依頼を受けた内容を調査します。

調査依頼を除いた件数で比較しても、平成26年度は107件、平成25年度は57件となり5

0件増加しています。(平成25年度の調査依頼は19件でした。)

・子ども短期入所利用状況について

松戸の児童養護施設「晴香園」に委託し、お子さんを1泊から最長7日間お預かりする事業です。平成26年度の短期入所の利用は2世帯のみでした。一件目は、母の出産に伴う入院、2件目は母の病気による入院が利用理由でした。

・子ども虐待の種類別対応件数

新規受付件数として最も多いのが心理的虐待、続いて身体的虐待です。DVの目撃が心理的な虐待に当たることから、心理的な虐待の件数が多くなっています。性的虐待が2件ありますが、こちらは警察からの調査依頼でした。警察から直接児童相談所への通告になっているケースです。

・虐待相談経路について

児童相談所が最も多いですが、こちらは児童相談所からの住民基本台帳や所属機関などの確認といった調査の依頼になります。同じ内容について警察から調査依頼が入り、その後児童相談所から調査依頼が入ることがありますが、その場合には先に来た依頼をカウントし、その後の依頼は記録としては残すもののカウントは行わないようにしています。

それ以外の通報元としては、庁内外の行政機関が増えています。これは社会福祉課、健康づくり支援課、子ども発達センター等各機関の連携が密になり、情報が集約されやすくなったことが要因と考えられます。また、近隣住民からの通告も平成25度(7件)から、平成26年度(21件)と3倍となりました。怒鳴り声や泣き声の通報や幼児だけで外に出ていて親が適切な養育ができていないなどの相談がありました。

・実務者会議開催状況について

続いて平成26年度 実務者会議開催状況をご説明します。

実務者会議は原則毎月1回開催を予定しています。平成26年度は予定通り12回実施されています。継続ケースとして支援している家庭の状況を事務局から報告し、出席者からのご意見を頂いています。この会議の中で、出席者の中から気になるケースとして報告されることもあります。

また、継続していくのか、見守りに入るか、終結するかなど支援ケースについて年3回、進行管理チェックを行いました。

・個別支援会議開催状況について

個別支援会議開催状況について報告させていただきます。資料3をご覧ください。

個別支援会議は、「我孫子市子ども虐待等防止対策地域協議会設置要綱」第9条で定められており、個別の子ども虐待等の事案に対する具体的な支援内容等を検討することとされています。

昨年度は、30ケースの方を対象に23回開催しました。ケースの方の状況によっては、年間で2～3回実施した方も数名いました。種別で見ますと、虐待によるネグレクト・身体がともに6件で一番多くなっています。資料1の相談受付対応状況報告でもありましたように、相談件数は年々増加しており、虐待相談も全体相談件数の47%をしめています。

<質 疑>

なし

②平成27年度 地域協議会年間活動予定について

平成27年度 地域協議会年間活動予定について説明させていただきます。

- ・地域協議会（代表者会議）は、今年度も2回の開催を予定しています。本日が第1回目となり、平成28年2月18日（木）に2回目を予定しています。
- ・実務者会議につきましては月1回、原則第4月曜日に開催しており、今年度は、4月から6月で3回開催しました。
- ・個別支援会議につきましては、必要に応じて随時開催としています。今年度は既に5回開催しました。

啓発活動の充実について説明させていただきます。

- ・国の子ども虐待防止推進月間の11月に合わせて、今年度も啓発活動を行う予定です。具体的には、市広報紙「広報あびこ」にキャンペーン記事の掲載。我孫子市のホームページに国等のキャンペーンの取り組みを掲載。国が作成した子ども虐待防止推進キャンペーンポスターを、駅や図書館、公民館などの公共施設をはじめ効果的な場所（近隣センター、近くのお店など）に掲示していきます。
- ・関係機関のイベントに参加し、オレンジリボンキャンペーンを実施します。今年も6月21日（日）に開催された「げんきフェスタ」に参加しました。このオレンジリボンづくりに157人の親子が参加してくれました。また、10月18日（日）に予定されている、「あびこ子どもまつり」にも参加する予定です。

研修の実施について

千葉県の市町村児童虐待防止ネットワーク機能強化（アドバイザー派遣）事業を利用して、地域協議会及び関係機関の職員を対象に研修を企画し実施したいと思っています。なお、開催時期等、詳細については今後決定していきます。

以上、地域協議会年間活動予定について報告させていただきました。

<質 疑>

なし

(5) 講 演

テーマ「市町村における児童虐待の対応について」

講 師：元中央児童相談所所長 庄司 快栄 氏

<委員からの質問および意見>

- ・(法務局 鈴木委員) 数字的にみると里親制度の利用がなかなか進まない現状がある。その原因となっていることで、考えられることがあれば教えていただきたい。

(講師) 日本の場合には、まだ里親制度が広まっていない。欧米の場合には、70～80%が里親委託となっており、施設入所が本当に少ない。それはなぜかと考えた時、個人的な意見となってしまうが、日本の制度の場合は、最初に「自分の子どもがいなくて養子縁組をして老後をみてもらう」といった意識が強かった。また、里親制度という、その言葉さえもわからないという現状があった。最近になってようやく養育里親が少しずつ周知されてきたが、まだ十分とはいえない。それらが、利用がなかなか進んでいかない理由なのかと考えている。

(6) その他

事務局から報告

- ・平成27年度第2回会議予定について

第2回目の会議は、平成28年2月18日(木)を予定しています。詳細につきましては、またご連絡しますのでよろしくお願いいたします。

(7) 閉 会

午後3時45分、会長が閉会を宣言し、終了する。